

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第2回鴻巣市シティプロモーション推進懇話会
開催日	令和8年2月4日(水)
開催時間	午後2時00分 開会 ・ 午後3時30分 閉会
開催場所	鴻巣市にぎわい交流館 2階多目的室
出席者(委員)氏名 (出席者数)	齊藤 哲也(アドバイザー) 久保 泰枝 伊藤 恵 山本 明伸 真鍋 透 小野 賢俊 池永 可成江 竹下 和男 永久 健三 計9名
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	澤田 稔行 堀越 延年 斎藤 徹 天野 雄大 計4名
事務局職員職氏名	市長政策副室長 小川 裕子 総合政策課長 吉野 智和 総合政策課副課長 齋藤 則考 総合政策課主事 吉野 紅音
傍聴者の可否(傍聴者数)	可(0名)
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ 3 意見交換 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和7年度事業報告について (2) シティプロモーション5年間の総括について (3) 令和8年度事業計画について 4 その他 5 閉 会

【次第3 意見交換】

(1) 令和7年度事業報告について事務局より説明

(2) シティプロモーション5年間の総括についてアドバイザーの齊藤さんより説明

●アワード受賞式参加者の感想

・他市の事例から、各自治体に共通する課題があることが分かった。「市民が鴻巣市を好きになる」という推進方針の目的が評価されたものと感じた。

・受賞は本市のポテンシャルの高さを示すものであり、関係者が悩みながら共に作り上げていくことの重要性を実感した。

・他市の受賞報告や事例発表を聞き、シティプロモーションの目的を改めて考えさせられた。目指す姿を再考し、上位の階層から整理していく必要性を感じた。

●意見交換

・受賞の理由や評価ポイントは確認しているか。

→事務局に確認はしているが、まだ示されていない。今後の勉強会等で説明される可能性がある。

・アワード企画書のタイトル（官民交報連携）に、「交」の要素を盛り込んでいただいたことに感謝している。次のステージとして、市民の声をどのように活かし、課題解決につなげていくかが重要である。

・「鴻巣ポスト」では「好きなこと」を集めたが、課題や困りごとを収集して解決する仕組みも検討してはどうか。

→最初から課題を集めると、苦情が集まる可能性があるため、まずは「好きなこと」で実験するのが有効的である。

→市民の声等を集団広聴する取組としては、毎年実施している「まちづくり市民アンケート」において、市全般に関する満足度等を10年以上継続して把握している。また、個別広聴としては、市長への手紙やメール、市ホームページからの投稿が可能である。さらに、「こどものいけんばこ」など親子の意見を聴く施策も開始している。

(3) 令和8年度事業計画について事務局より説明

●全体を通しての意見

・鴻巣は「国府の巣」（日本書紀）に由来しており、この歴史を残していく必要がある。

・「官民交報」が「官民交報“教（教育）”」へ発展するとよい。特に子どもたちへの取組が重要である。

・「こどもまんなか」とあるが、こどもの定義は何か。

→こどもを小中学生に限定せず、「発達途中にある人」と捉えている。

・シティプロモーションの認知度を上げるために、本市の各種団体への周知・意見徴収が重要である。こども施策も大切だが、高齢化や空き家対策も課題である。

・鴻巣ポストについて、近所に投票を呼びかけたところ、多様な「好きなところ」が集まり興味深かった。

以上

配布資料	<ul style="list-style-type: none">・令和7年度 第2回鴻巣市シティプロモーション推進懇話会次第・令和7年度 鴻巣市シティプロモーション推進懇話会委員名簿・鴻巣市シティプロモーション推進懇話会設置要綱・懇話会資料・シティプロモーションアワード企画書・こうのす通信 (パンフレット)・観光こうのす(パンフレット)
------	---